

第2期

鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和3年2月22日

鹿角市

目 次

I 総論	2
1 総合戦略の基本方針	3
(1) 目指すべき将来の方向	3
(2) SDGs（持続可能な開発目標）の視点	3
2 総合戦略の位置付け	4
3 推進期間	5
4 総合戦略の進捗管理・評価方法（PDCA サイクル）	5
II 基本目標ごとの目指す成果と具体的な施策	6
基本目標1 未来を拓く 稼ぐ力を高める地域づくり	7
(1) 外貨獲得と地域経済の循環	7
(2) 稼ぐ力を高める人材の育成と確保	9
(3) 鹿角の際立つ文化の振興	9
基本目標2 未来を拓く つながりを築く新しい人の流れづくり	10
(1) 市民とつながる関係人口・交流人口の拡大	10
(2) 魅力を生かした「鹿角暮らし」の推進	11
基本目標3 未来を拓く 若い世代の希望をかなえる社会づくり	12
(1) 出会いと結婚への支援強化	12
(2) 妊娠・出産・子育てを支える環境づくり	13
基本目標4 未来を拓く 新たな時代に対応した魅力的な地域づくり	14
(1) コンパクトなまちづくりの推進	14
(2) 未来技術の導入	15
(3) 鹿角の未来を支える人づくり	15
(4) 地域コミュニティの維持・活性化	16
(5) 健康で生きがいのある地域づくり	16
(6) 都市インフラの戦略的維持管理	17
III 参考資料	19
第2期鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略における SDGs ゴールとの関連表	20

I 総論

1 総合戦略の基本方針

(1) 目指すべき将来の方向

第1期鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第1期総合戦略」という。）では、3つの視点（①人口流出の抑制とUIJターンの促進、②若い世代の就労と結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現、③地域課題の解決と本市の特徴を生かした地域活性化）のもとで、4つの基本目標を掲げて、地方創生のための施策を推進してきました。この間、一定の成果が出た事業がある一方で、成果を得るには時間を要する事業や見直しが必要な事業もあり、市全体の人口減少のペースにも歯止めをかけるには至っていないのが現状です。

このため、第2期鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第2期総合戦略」という。）では、第1期総合戦略の検証結果と「鹿角市人口ビジョン」で示した目指すべき将来の方向を踏まえ、国の示す政策4分野（①雇用、②人の流れ、③結婚・出産・子育て、④地域づくり）を勘案し、結婚支援の強化やUターン及び関係人口の強化、さらには未来技術の活用といった新たな観点を追加しながら、人口減少の抑制と持続可能なまちの実現を目指していきます。また、総合戦略の展開にあたっては、まち・ひと・しごと創生に向けた政策5原則（①自立性、②将来性、③地域性、④直接性、⑤結果重視）に基づいて推進していきます。

(2) SDGs（持続可能な開発目標）の視点

SDGsは、すべての関係者の役割を重視し、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指して、経済・社会・環境を巡る広範な課題に統合的に取り組むものであり、「すべての人に健康と福祉を」、「働きがいも、経済成長も」、「住み続けられるまちづくりを」などの17の目標とこれを達成するための169のターゲットを掲げています。

第2期総合戦略では、SDGsの視点を取り入れ、4つの基本目標とSDGsの関連を示すことで、持続可能なまちづくりと地域活性化の推進を図っていきます。



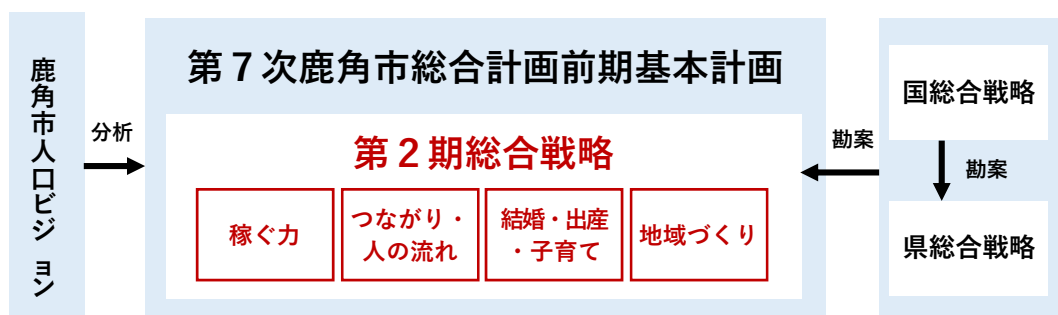
【図表1】SDGsの17の目標のアイコン

2 総合戦略の位置付け

令和3年を始期とする第7次鹿角市総合計画は、本市を取り巻く社会構造の大きな変化を踏まえ、限られた行政資源を有効に活用し、総合的で計画的な都市経営に向けて、最大の成果を上げることを目指す戦略的な最上位計画です。

第2期総合戦略の基本的な考え方は、第7次総合計画策定の基本的な考え方と合致し、令和42（2060）年までの長期的な人口展望を描いた「鹿角市人口ビジョン」を踏まえながら、第7次総合計画前期基本計画に定める各取組方針の実施内容を第2期総合戦略の体系に沿って、対応する客観的・主観的指標とともに整理・抽出したものです。

【図表2】第7次総合計画と第2期総合戦略の関係



【図表3】対応する第7次総合計画前期基本計画の取組方針

第2期総合戦略の基本目標と具体的施策	対応する第7次総合計画前期基本計画の取組方針
【基本目標1】 未来を拓く 稼ぐ力を高める地域づくり	
(1) 外貨獲得と地域経済の循環	1 地域産業の成長を支援します 23 販売重視型農業と6次産業化を進めます 24 稼げる観光振興を進めます 26 次世代産業の創出に取り組みます
(2) 稼ぐ力を高める人材の育成と確保	2 市民等の意欲のある就労・就農を支援します 3 市内外から産業の担い手を確保します
(3) 鹿角の際立つ文化の振興	27 文化財の保存に取り組みます 28 ヘリテージ・ツーリズムに取り組みます
【基本目標2】 未来を拓く つながりを築く新しい人の流れづくり	
(1) 市民とつながる関係人口・交流人口の拡大	22 人や地域の活力を生む交流を促進します 25 スポーツの力でまちの魅力を高めます
(2) 魅力を生かした「鹿角暮らし」の推進	2 市民等の意欲のある就労・就農を支援します（再掲） 3 市内外から産業の担い手を確保します（再掲） 20 地域の特色ある教育活動を実施します 22 人や地域の活力を生む交流を促進します（再掲）
【基本目標3】 未来を拓く 若い世代の希望をかなえる社会づくり	
(1) 出会いと結婚への支援強化	6 結婚の希望が叶うよう応援します
(2) 妊娠・出産・子育てを支える環境づくり	4 心身の健康づくりに取り組みます

	5 適切な医療を受けられる体制を整えます
	7 地域ぐるみの子育て支援を充実します
	11 安全・安心な住まいづくりを進めます
【基本目標4】 未来を拓く 新たな時代に対応した魅力的な地域づくり	
(1) コンパクトなまちづくりの推進	12 地域に合った公共交通手段を確保します
	32 コンパクトなまちづくりを進めます
(2) 未来技術の導入	30 未来技術の導入を進めます
(3) 鹿角の未来を支える人づくり	19 子どもから青少年までの生きる力を育みます
	21 自ら学び、行動する社会人を支援します
(4) 地域コミュニティの維持・活性化	20 地域の特色ある教育活動を実施します（再掲）
	31 多様な主体の力で共に発展するまちづくりを進めます
(5) 健康で生きがいのある地域づくり	4 心身の健康づくりに取り組みます（再掲）
	8 高齢者のいきいきとした暮らしを支援します
(6) 都市インフラの戦略的維持管理	10 衛生的で良好な生活環境を確保します
	11 安全・安心な住まいづくりを進めます（再掲）
	17 災害に強いまちの基盤整備を進めます

3 推進期間

第2期総合戦略の推進期間は、第7次鹿角市総合計画前期基本計画と一体的に推進していくため、令和3年度から令和7年度までの5か年とします。

4 総合戦略の進捗管理・評価方法（PDCA サイクル）

第2期総合戦略は、計画（plan）→実行（do）→評価（check）→改善（action）の4段階の活動を繰り返し行うことで、継続的に施策を改善していきます。なお、評価にあたっては、鹿角市政策アドバイザー等の外部の意見を取り入れるなどして、客観的評価に努め、改善を図っていきます。

Ⅱ 基本目標ごとの目指す成果と 具体的な施策

基本目標 1

未来を拓く 稼ぐ力を高める地域づくり



■ 基本的な方向

人が訪れ、住み続けたいと思える地域を実現するため、地域の特色・強みを生かした産業振興や企業の競争力強化を図り、地域の稼ぐ力を高めます。また、多様化する価値観やライフ・ワークスタイルを踏まえ、稼ぐ力を高める産業づくりを通じて、地域全体の魅力を高めます。

【数値目標】

指標	基準値	目標値 (R7)	7次総指標
1人当たり市内総生産	2,956 千円 (H29)	3,228 千円	基本戦略 1 指標
観光消費額 (年間)	—	4,746 百万円	経営戦略 1 指標

■ 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

(1) 外貨獲得と地域経済の循環

① 地域産業の自走力強化

地域産業の自走力を高める経営基盤の強化を図るとともに、製造業の域際収支の改善を目指した産業の高付加価値化を図ります。また、効率的な農林業経営による経営安定と競争力の強化、生産基盤の整備による農業生産力の維持・向上を目指します。

KPI	基準値	目標値 (R7)
製造業付加価値額 (従業者 1 人当たり)	573 万円 (R1)	627 万円
製造品出荷額に対する付加価値額の割合	38.6% (R1)	41.0%
農業産出額	9,570 百万円 (H30)	10,311 百万円

【具体的な事業】

企業立地促進事業、産業人材育成支援事業、緊急輸送道路等整備促進事業 (土木総務費)、経営革新支援事業、地域内連携推進事業、スマート農業推進事業、農業サポーターマッチング事業、かつの農業夢プラン応援事業、農地集積促進事業、農業構造改革推進事業、森林経営管理推進事業

②鹿角ブランドを生かす6次産業化の推進

魅力あるブランド農畜産品や高収益作物の生産拡大、付加価値を生み出す農産物加工の商品化と販路拡大、多様な販売チャンネルによる消費・販路の拡大を図ります。

KPI	基準値	目標値（R7）
ブランド農畜産品の販売額	293 百万円（R1）	383 百万円
食料品製造業の粗付加価値額	268,763 万円（R1）	274,000 万円
市内直売所の販売額	14,878 万円（R1）	16,830 万円

【具体的な事業】

北限の桃等果樹産地強化事業、花き周年栽培支援事業、淡雪こまち振興事業、かつの牛生産振興対策事業、水田転換主力作物づくり強化事業、アグリビジネス支援事業、地理的表示登録産品 PR 強化事業、農畜産物販売促進事業

③国際的観光地を目指す世界水準 DMO の推進

市全体を観光資源として生かした滞在型観光の充実を図るほか、世界水準 DMO による国際的観光地としての受入態勢づくりを進めます。

KPI	基準値	目標値（R7）
年間の宿泊客数（国内）	232,701 人（R1）	233,000 人
年間の宿泊客数（国外）	14,743 人（R1）	14,700 人

【具体的な事業】

観光宣伝推進事業、国立公園八幡平魅力アップ事業、十和田八幡平まなび旅創生事業、観光アクセス充実対策事業、きりたんぼ発祥の地かつの PR 事業、かつの観光産業推進事業、観光マーケティング事業、VISIT KAZUNO 受入態勢強化事業

④未来技術に対応した新産業の創出

獲得した外貨をもとに未来技術の進展に対応した新たな産業の創出を図るとともに、次世代を担う創業や新たな仕事づくりを推進します。

KPI	基準値	目標値（R7）
誘致企業・新産業創出数（累計）	—	5 件
起業・創業者数（累計）	—	60 件
新たなエネルギー関連の製品・サービスの提供数（累計）	—	1 件

【具体的な事業】

企業誘致促進事業、リモートワーク推進事業、起業・創業支援事業、事業承継支援事業、エネルギー産業支援事業

(2) 稼ぐ力を高める人材の育成と確保

①意欲のある就労・就農の推進

就職支援の拡大と働きやすい職場環境の形成、女性・若者のチャレンジ促進、農林業の担い手育成と定着を進めます。

KPI	基準値	目標値 (R7)
高校卒業者管内就職率	49.3% (R1)	52.4%
女性・若者の資格取得件数 (累計)	—	25 件
新規就農者・林業新規就業者数 (累計)	—	25 人

【具体的な事業】

就職支援事業、就職情報発信事業、女性若者資格取得支援事業、テレワーカー活躍促進事業、新規就農者育成支援事業、林業新規就業者育成支援事業

②産業の担い手の確保

一度転出した若い世代が将来的に市内へ戻り、産業の担い手となれるよう就業環境の整備と人材の確保を図ります。

KPI	基準値	目標値 (R7)
A ターン就職者数 (累計)	—	230 人
外国人技能実習生や都市部人材の採用人数 (累計)	—	97 人

【具体的な事業】

産業人材確保支援事業、就職情報発信事業 (再掲)、定住促進事業、特定地域づくり事業組合設立支援事業、外国人材活用支援事業

(3) 鹿角の際立つ文化の振興

①「世界遺産のまち」のまちづくり

世界級遺産を始め、本市に数多く存在する地域の祭りや伝統芸能などを末永く後世に伝えるため、広く歴史文化に親しむ機会の創出や、世界遺産とともに成長する地域人材を育成しながら、観光資源としての文化の最大活用 (ヘリテージ・ツーリズム) を目指します。また、海外に向けて世界級遺産を活用したデジタル観光情報の発信を強化します。

KPI	基準値	目標値 (R7)
無形民俗文化財の保存を担っている団体の構成員数	1,849 人 (R1)	1,740 人
大湯環状列石のガイド件数	511 件 (R1)	840 件
大湯ストーンサークル館の来館者数	19,207 人 (R1)	30,000 人
WEB コンテンツ (観光 PR) 動画再生回数	819 回 (R1)	4,392 回

【具体的な事業】

文化財保存事業、大日堂舞楽保存伝承事業、声良鶏保存奨励事業、大湯環状列石保存活用事業、ヘリテージ・ツーリズム推進事業、世界遺産登録推進事業、大湯環状列石史跡環境整備事業、VISIT KAZUNO プロモーション強化事業



■ 基本的な方向

「地方にこそ、チャンスがある」といった若者等の夢や希望を抱いて本市へ移住する動きを支援するとともに、本市の魅力ある仕事を学ぶ機会を新たに創出して若者の定着を促します。また、関係人口の拡大や個人、企業によるふるさと納税を促進し、つながりと資金の流れを加速します。

【数値目標】

指標	基準値	目標値	7次総指標
直近5年間の人口の 社会増減の累計	1,053人減 (H27-R1 合計)	1,015人減 (R3-R7 合計)	経営戦略1指標

■ 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

(1) 市民とつながる関係人口・交流人口の拡大

① 地域とのかかわり強化による関係人口の拡大

市民巻き込み型の交流を促進し、本市への継続的な関心を持ってもらうために、地域とのかかわり強化による関係人口の拡大を図ります。

KPI	基準値	目標値（R7）
関係人口とのマッチング件数（累計）	—	25件

【具体的な事業】

「鹿角家」マッチング促進事業、若者世代ふるさとネットワーク構築事業、高校生地域魅力発信事業、ふるさと鹿角応援寄附推進事業

② 農村資源やスポーツ環境等を生かした地域間交流の活性化

葛飾区との幅広い交流の推進や農村体験の提供など、所縁ある地域等と地域間交流を活性化し、交流人口の拡大を図ります。また、全国級の大型大会とスポーツを支える人材の育成と確保を進め、スポーツを核とした新たな交流人口の創出を目指します。

KPI	基準値	目標値（R7）
所縁ある地域等との交流事業参加者数	572人（R1）	620人
スポーツ合宿利用者数	3,292人泊（R1）	3,300人泊
主要なスポーツ行事の開催による経済波及効果（累計）	—	450,000千円

【具体的な事業】

葛飾区連携交流推進事業、食の交流まつり開催事業、都市農村交流事業、域学連携推進事業、県外大学等調査研究活動奨励事業、スポーツ合宿奨励事業、葛飾区スポーツ交流推進事業、

総合競技場公認更新整備事業、市主催大会開催事業、全国規模大会開催事業、スキー駅伝選手育成強化対策事業、ジュニアアスリート育成事業、スポーツ指導員等養成事業

(2) 魅力を生かした「鹿角暮らし」の推進

①首都圏等からの移住促進

首都圏等の住民をターゲットに、「しごと」と「暮らし」を一体的に支援する「鹿角暮らし」を推進するため、移住しやすい環境を整備し、移住に結び付く情報発信やイベント等を通じて、移住を促進します。また、移住者に対しては、起業や就業支援を行いながら、都市部や外国の人材が市内で働きやすい受入環境を構築します。

KPI	基準値	目標値（R7）
Aターン就職者数（累計）（再掲）	－	230人
市の支援による移住者数（累計）	－	290人

【具体的な事業】

産業人材確保支援事業（再掲）、就職情報発信事業（再掲）、移住促進体制充実事業、移住情報発信事業、移住体験提供事業、定住促進事業（再掲）

②若者の市内定着・回帰の推進

高校生の地元就職を促進するために、地元企業等の情報発信を強化しながら、相談支援体制の充実を図ります。また、首都圏等へ転出した市出身者等のふるさと回帰を促すため、ネットワークを構築しながら、地元企業等への就職につなげていきます。

KPI	基準値	目標値（R7）
高校卒業者管内就職率（再掲）	49.3%（R1）	52.4%
市の支援による移住者数（累計）（再掲）	－	290人

【具体的な事業】

就職支援事業（再掲）、就職情報発信事業（再掲）、移住促進体制充実事業（再掲）、移住情報発信事業（再掲）、移住体験提供事業（再掲）、定住促進事業（再掲）、若者世代ふるさとネットワーク構築事業（再掲）

③地域の特色を生かした教育の推進

児童生徒が将来、自信を持って未来を切り拓くことができる資質・能力の育成を図り、ふるさと鹿角でその力を発揮できるよう、企業や団体など、様々な世代との体験等を通じてふるさとに誇りを持って成長できる場の提供を行います。また、首都圏等の大学と連携し、本市をフィールドに中学生や高校生が大学生とともに、大学の学びを体感できる機会を創出します。

KPI	基準値	目標値（R7）
地域のために何をすべきかを考える児童生徒の割合	63.0%（R1）	66.0%

【具体的な事業】

ふるさと・キャリア教育推進事業、特色ある学校づくり推進事業、夢の教室開催事業、ふるさとかつの絆プラン事業、かつの未来アカデミー創造事業



■ 基本的な方向

男女ともに結婚、子育て、仕事をしやすい環境づくりを進めるとともに、結婚の希望を叶える取組や子育てサポート体制、男女の働き方など、新たな時代に対応した少子化対策の取組を推進します。

【数値目標】

指標	基準値	目標値 (R7)	7次総指標
出生数 (累計)	—	733 人	基本戦略 2 指標

■ 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

(1) 出会いと結婚への支援強化

① 出会いの場の機会拡大

若い世代が結婚や子育てに対し、具体的なイメージを描けるよう、出会いイベントや講座の開催等を通じて、独身男女の出会いの機会の創出を図るとともに、ライフプランを構築するための機会や情報提供を充実します。

KPI	基準値	目標値 (R7)
男女の出会いの場の創出数 (累計)	—	30 件

【具体的な事業】

出会い応援事業、結婚サポート推進事業

② 結婚支援の充実

新婚世帯が結婚生活を円滑にスタートできるようにするための支援の充実を図ります。

KPI	基準値	目標値 (R7)
市等の関与による成婚数 (累計)	—	25 件

【具体的な事業】

結婚新生活支援事業、結婚サポート推進事業 (再掲)

(2) 妊娠・出産・子育てを支える環境づくり

①地域ぐるみの子育て支援の充実

妊娠・出産・子育てに夢を持つ若者が不安や負担を感じることなく、安心して子育てができるよう、保育料をはじめとする経済的支援や保育サービスの充実のほか、住環境の向上を支援します。また、親同士や地域の人など、身近で気軽に子育ての悩み相談や情報共有ができるファミリー・サポート・センターの環境を充実させ、地域ぐるみの楽しい子育てを推進します。

KPI	基準値	目標値 (R7)
第2子以降の出生割合	54.6% (R1)	55.6%
ファミリー・サポート・センターのサポーター(提供会員)登録者数	50人 (R1)	50人

【具体的な事業】

子育て応援リユース事業、すこやか子育て支援事業、子育てファミリー支援事業、家庭児童相談室運営事業、病児・病後児保育事業、養育支援訪問事業、ファミリー・サポート・センター運営事業、子ども未来センター運営事業、延長保育事業、放課後児童クラブ運営事業、児童センター運営事業、安全・安心住まいづくり事業

②切れ目ない母子保健の充実

妊娠・出産・子育てを取り巻く環境が変化する中、妊娠期から子育て期における悩みや不安を解消するため、個々の状況に沿った健診や相談の実施、親子の健康維持、早期治療や療育など、切れ目ない母子保健の充実を図ります。

KPI	基準値	目標値 (R7)
妊婦歯科健診の受診率	59.3% (R1)	65.0%

【具体的な事業】

妊産婦支援事業、乳幼児支援事業、むし歯予防推進事業

③適切な医療が受けられる環境の構築

住み慣れた地域で安心して医療を受けられる環境は、若者の妊娠・出産・子育ての希望を叶える上での重要な要件であることから、中核病院の医療従事者の確保と病院機能の充実を図るとともに、病院とかかりつけ医等との医療連携を推進します。

また、休日や夜間における診療体制を確保するほか、市外の医療機関との医療情報の共有や妊婦等の通信支援により、市外の医療資源を含めて、必要な医療サービスを受けられる環境を構築します。

KPI	基準値	目標値 (R7)
中核病院の常勤医師数	19人 (R1)	22人
看護師・薬剤師数	306人 (H30)	310人

【具体的な事業】

医師確保対策事業、かつの厚生病院支援事業、鹿角地域医療・多職種連携推進学講座設置事業、かつの地域医療推進事業、あんしん医療連携事業、テレフォン病院24事業、医療機関開設資金支援事業、福祉医療給付事業

基本目標 4

未来を拓く 新たな時代に対応した魅力的な地域づくり



■ 基本的な方向

コンパクト・プラス・ネットワークや地域交通の維持・確保、ストックマネジメント等に取り組みながら、質の高い暮らしのためのまちの機能の充実を図ります。また、人々が安心して暮らすことができるよう、医療・福祉サービス機能や防災・減災、地域の交通安全の確保を図ります。

【数値目標】

指標	基準値	目標値（R7）	7次総指標
健康寿命	男性 77.94 年（H29） 女性 83.32 年（H29）	男性 79.77 年 女性 85.46 年	基本戦略 2 指標
生活環境が快適なまちだと思ふ市民の割合	49.7%（R1）	54.9%	基本戦略 3 指標
自分に必要な行政サービスが受けられていると思う市民の割合	59.8%（R1）	64.9%	経営戦略 3 指標

■ 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

(1) コンパクトなまちづくりの推進

①「まち使い」を高める居住人口の集積

本市の中心市街地エリアにおいては、文化の杜交流館「コモッセ」や、鹿角花輪駅前広場などの整備により、高次の都市機能の集積が進んだ一方、空き店舗や空き家が不規則に発生するスポンジ化の進行がまちの機能の低下を引き起こすことから、中心市街地への住宅や生活に関連する施設の誘導を図るとともに、地域の特長に応じて中心市街地と都市機能を最大限に利用しやすい環境づくりを進めます。

KPI	基準値	目標値（R7）
中心市街地エリアの居住人口割合	8.1%（R1）	9.1%
中心市街地エリアの公共施設の利用者数（年間）	420,729 人（H30）	430,000 人

【具体的な事業】

中心市街地空き家リセット・利活用事業、地域公共交通確保対策事業、交通弱者支援事業

②まちなかエリアへの交通アクセス向上による都市機能の活用

市内に点在する公共交通の利用が不便な地域の移動手段を確保し、中心市街地へのアクセスを向上させるため、地域の実情に合った交通手段の検討・導入について、地域、交通事業者、市が一体となって取り組みます。また、高齢化が進む中で、市民が過度に車に依存することなく暮らせる公共交通網の維持確保を図ります。

KPI	基準値	目標値 (R7)
公共交通空白地域（自治会単位）の割合	15.0% (R1)	11.8%
市民1人当たりのバス利用回数	8.9回 (R1)	8.9回

【具体的な事業】

地域公共交通確保対策事業（再掲）、交通弱者支援事業（再掲）、地域公共交通維持対策事業

(2) 未来技術の導入

①ICTによる業務効率化と住民サービスの向上

ICTの業務活用等を不断に実施し、市行政の効果的、効率的な運用を図ります。

KPI	基準値	目標値 (R7)
光ファイバ利用可能世帯率	94.7% (R1)	100%
オンラインで申請（届出）などが可能な行政手続数	9件 (R1)	80件

【具体的な事業】

光ファイバ整備・高度化促進事業、行政手続等デジタル化推進事業

(3) 鹿角の未来を支える人づくり

①子どもから青少年までの生きる力の育成

意欲を持って学べる学校環境のもと、一人ひとりの課題に応じた学力を身に付けさせ、子どもが自ら育とうとする力を支援することで、「生きる力」を引き出します。

KPI	基準値	目標値 (R7)
標準学力調査における全国平均との比較	102.6 (R1)	103.0
青少年育成鹿角市民会議の個人・団体等会員数	303 会員 (R1)	350 会員

【具体的な事業】

児童生徒学力向上対策事業、ICT活用教育事業、外国語活動充実事業、特別支援教育支援員配置事業、課題研究活性化事業、青少年健全育成事業、家庭教育推進事業

②自ら学び、行動する社会人の育成

生涯を通じて新たな知識や技術を習得し、その成果を地域に還元できる人材を育成します。

KPI	基準値	目標値 (R7)
文化の杜交流館文化ホールの利用者数	29,828 人 (R1)	35,000 人
市民センター新規サークル登録団体数（累計）	—	20 団体

【具体的な事業】

文化の杜交流館事業、かづの人財発掘事業

(4) 地域コミュニティの維持・活性化

①住民主体の地域コミュニティの維持・活性化

コンパクトシティを推進する一方で、各地域内のコミュニティ機能が衰退することのないよう、集落支援員を活用しながら、知恵と力を生かした地域住民主体の地域コミュニティを維持・活性化します。

KPI	基準値	目標値 (R7)
地域づくり協議会の地域活性化事業参加者数	7,928 人 (R1)	9,000 人
集落支援員活用自治会数の割合	13.9% (R1)	39.6%

【具体的な事業】

市民センター管理費（地域づくり協議会体制強化）、自治会振興推進事業、自治会振興交付金、自治会等コミュニティ活性化支援事業、集落支援員活動事業、集落活動応援事業

②学校と地域が連携したコミュニティづくり

学校が地域や家庭と共に子どもたちを育むというビジョンのもとに、地域コミュニティの力を特色ある教育活動に生かします。

KPI	基準値	目標値 (R7)
地域学校協働活動に携わるボランティア数	1,179 人 (R1)	1,250 人
児童生徒の地域行事への参加割合	78.0% (R1)	85.0%

【具体的な事業】

地域学校協働活動推進事業、学校運営協議会事業、特色ある学校づくり推進事業（再掲）、かづの未来アカデミー創造事業（再掲）、域学連携推進事業（再掲）

(5) 健康で生きがいのある地域づくり

①健康で長生きできる環境の確保

健康寿命の延伸を図るため、がん検診の受診勧奨や啓発活動等を通じて受診率の向上を図り、がんの発症予防と早期発見に繋がります。また、年齢層に応じた重点的な健康増進活動や保健指導により、原因となる危険因子を早期に発見し、改善を図っていくための取組を進めることで、生活習慣病予防及び重症化予防を図ります。

KPI	基準値	目標値 (R7)
肺がん・大腸がん検診、特定健診の受診率（平均）	18.6% (R1)	21.4%
脳血管疾患の死亡率（人口 10 万人対比）	238 人 (H30)	184 人
市民 1 人当たりのスポーツ施設利用回数	7.5 回 (R1)	8.0 回

【具体的な事業】

がん検診推進事業、人間ドック等推進事業、特定健康診査事業、若年者健康診査事業、後期高齢者医療保健事業、予防接種事業、健康意識啓発事業、脳血管疾患対策事業、こころの健康づくり推進事業、後期高齢者健康推進事業、チャレンジデー開催事業、わくわくウォーキング開催事業

②介護予防や認知症対策の推進

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、介護予防や認知症対策の推進を図ります。

KPI	基準値	目標値（R7）
地域包括支援センター相談等への対応率	68.6%（R1）	72.0%
介護予防拠点数	28 箇所（R1）	40 箇所
認知症サポーター 1 人に対する高齢者数	2.9 人（R1）	2.2 人

【具体的な事業】

高齢者ほっとライン事業、高齢者軽度生活支援事業、高齢者福祉タクシー事業、高齢者等住宅除排雪支援事業、配食サービス事業、地域包括支援センター運営事業、在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、高齢者等見守りネットワーク推進事業、家族介護者支援事業、介護人材確保推進事業、老人クラブ育成事業、介護予防・生活支援サービス事業、シルバーリハビリ体操指導士養成事業、地域生き生きサロン推進事業、フレイル対策支援事業、会食サービス支援事業、認知症初期集中支援推進事業、認知症地域支援・ケア向上事業、認知症高齢者見守り事業、認知症サポーター等養成事業

(6) 都市インフラの戦略的維持管理

①上下水道施設や道路・橋りょう等の老朽化対策

上下水道施設や道路・橋りょう等の都市インフラの老朽化に伴い、低いコストで安全性を確保できるよう、長期的視点に立った計画的・体系的な点検及び補修を行います。

KPI	基準値	目標値（R7）
有収率	69.3%（R1）	75.0%
架け替えを含む補修を実施した橋りょう数（累計）	—	9 橋
管路の耐震適合率（水道施設）	34.8%（R1）	37.2%

【具体的な事業】

配水管拡張事業、浄水施設等更新整備事業、老朽管更新事業、配水及び給水費（老朽管維持補修）、橋りょう長寿命化対策事業、道路舗装長寿命化対策事業、凍結防止剤散布車更新事業、消融雪施設更新事業、緊急輸送道路等整備促進事業（土木総務費）（再掲）、急傾斜地崩壊対策事業、配水管更新事業

②住宅の長寿命化と空き家等の適正管理

市営住宅や民間住宅における長寿命化対策や空き家等の適正管理を実施し、住環境の向上を図ります。

KPI	基準値	目標値（R7）
市営住宅の長寿命化率	25.9%（R1）	40.6%
空き家適正管理率	83.4%（R1）	85.4%

【具体的な事業】

市営住宅整備事業、公営住宅建設事業（補助）、安全・安心住まいづくり事業（再掲）、空き家等適正管理推進事業、危険老朽空き家除去支援事業

III 参考資料

第2期鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略におけるSDGsゴールとの関連表

○関連するゴール		基本目標1 未来を拓く 稼ぐ力を高める 地域づくり	基本目標2 未来を拓く つながりを築く 新しい人の流れ づくり	基本目標3 未来を拓く 若い世代の希望 を叶える社会づ くり	基本目標4 未来を拓く 新たな時代に対 応した魅力的な 地域づくり
ゴール1 貧困をなくそう	1 貧困を なくそう			○	
ゴール2 飢餓をゼロに	2 飢餓を ゼロに	○			
ゴール3 すべての人に健康と福祉を	3 すべての人に 健康と福祉を		○	○	○
ゴール4 質の高い教育をみんなに	4 質の高い教育を みんなに	○	○	○	○
ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	5 ジェンダー平等を 実現しよう	○			○
ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	6 安全な水とトイレ を世界中に				○
ゴール7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	○			
ゴール8 働きがいも経済成長も	8 働きがいも 経済成長も	○	○		
ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	○			○
ゴール10 人や国の不平等をなくそう	10 人や国の不平等 をなくそう	○	○		
ゴール11 住み続けられるまちづくりを	11 住み続けられる まちづくりを	○	○		○
ゴール12 つくる責任、つかう責任	12 つくる責任 つかう責任	○			
ゴール13 気候変動に具体的な対策を	13 気候変動に 具体的な対策を	○			○
ゴール14 海の豊かさを守ろう	14 海の豊かさ を守ろう				
ゴール15 陸の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさ を守ろう				
ゴール16 平和と公正をすべての人に	16 平和と公正を すべての人に			○	○
ゴール17 パートナーシップで目標を達成しよう	17 パートナーシップで 目標を達成しよう	○	○	○	○



第 2 期鹿角市総合戦略

令和 3 年 2 月 22 日

鹿角市総務部政策企画課総合戦略室

電話：0186-30-0201

FAX：0186-30-1122

E-mail：kikaku@city.kazuno.lg.jp